

くれよんはうすの5領域

～児童発達支援～

健康
生活

運動
感覚

認知
行動

言語
コミュニケーション

人間関係
社会性

エンジョイくれよんはうすの児童発達支援では
5領域に基づく以下の内容を組み合わせた支援を行っています。

健康
生活

- ・来所時に体温測定、顔色や本人の様子の観察、利用時の心身の状態をよく確認し、健康で安全に利用できるよう支援します。
- ・生活リズムを安定させるために定期的に通所することを勧めています。
- ・自立した日常生活や社会生活を送れるよう、衛生面への意識向上・遊んだ物の片付けや掃除等を通して生活面を支援します。
- ・楽しく安全に食事が出来るよう間隔などに配慮しながら、姿勢保持や補助具に関する支援を行います。
- ・病気の予防や安全への配慮を行います。

運動
感覚

- ・体全体を動かす活動や手先を動かす工作活動、音楽・リズム遊びを通して運動能力や感覚統合の支援を行います。
- ・運動を通じて脳の発達を促進し、集中力の向上やストレス・不安の軽減につなげていきます。
- ・工作活動では個々の能力に応じて切る・貼る・塗る・折るといった手指の細かい動きを行います。思うように出来なかったり、難しいと感じる部分はスタッフが支援し、「作ること」や「表現すること」を楽しみ、完成した時の達成感を自信に繋げていきます。

認知
行動

- ・季節の変化へ興味が持てるよう季節ごとのイベントを開催し、季節に応じた工作と施設の装飾を行います。
 - ・朝の会で日付や天気の確認をし、見当識の認知形成を行います。
 - ・1日の時間帯別活動によりスケジュールの把握が出来るよう支援を行います。
 - ・小集団での適切な行動形成、認知特性に応じた支援を行います。

言語
コミュニケーション

- ・言葉遊びや絵本の読み聞かせを通して、言葉の理解と表現を促進します。
- ・個々の特性に応じた机上課題を提供します。
- ・ジェスチャーやサインなどを併用した多様なコミュニケーション手段の獲得を支援します。
- ・絵カードなどを活用して語彙力の向上や自発的な発声を促し、必要に応じて正しく発音が出来るように口腔機能の評価・指導をしていきます。

人間関係
社会性

- ・課題による達成感を自尊心の形成と向上に繋げていきます。
- ・ルールの理解が必要な遊びを取り入れ、他者と協調する力を養います。
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びへの取り組みを支援し、社会性の形成を図ります。
- ・1人遊びから少しずつ複数人での遊びにも参加出来るようスタッフが間に入り支援します。他者との関わりが苦手な場合は無理に参加を促しませんが、ルールを工夫することで段階的に集団あそびにも参加できるように支援しています。
- ・季節のイベントで系列の放課後等デイサービスとの交流により、普段関わることの少ない交流経験を提供します。

